

# 平成30年度事業報告

平成30年 4月 1日から  
平成31年 3月31日まで

## I 事業概要

### 1 MICE事業部門

国際会議等の MICE(\*)は、ビジネスパーソンや研究者を我が国に呼び込むことにより、ビジネス機会やイノベーションの創出、開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出し、国や都市の国際的な競争力を強化する施策として極めて重要な役割を果たす。

国は平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」で掲げられた「2030年にはアジア No.1 の国際会議開催国としての不動の地位を築く」という目標及び平成30年7月「国際競争力強化委員会提言」で掲出された「2030年 MICE 関連訪日外国人消費相当額 8,000億円」の目標を達成するために、MICE の誘致・開催における都市の国際競争力の向上を図ってきた。

当財団では、こうした国の動きを踏まえるとともに、観光庁が「グローバル MICE 都市（千葉県・千葉市）」に対して実施した支援事業や、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンションビューロー（JCCB）の事業を活用して、MICE 事業の一層の強化を図ったところであり、その結果、MICE 誘致件数は133件と目標を上回って達成することができた。

千葉県の知名度の向上、フィルムツーリズムの推進等を目的とする千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）については、千葉県の補助制度である「千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金」の活用など、積極的な事業推進に努めてきたところであり、平成30年度の県内撮影件数は67件と目標を上回る実績となった。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて千葉県が実施している「スポーツコンシェルジュ運営事業」については、平成27年度の発足当初から当財団が受託しており、事前キャンプや国際大会等の県内誘致に向けた活動を行っている。平成30年度は、平成30年8月に開催された「2018年世界女子ソフトボール選手権大会」の事前キャンプの誘致や開催支援等に取り組み、日本、カナダ、ニュージーランド代表チームなどが県内で事前キャンプを行った。

#### \*MICE（マイス）

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

## 2 国際交流部門

訪日外国人旅行者数は、観光振興に向けた積極的な国の取り組みや、国や地域の垣根を超えたグローバル化の進展に伴い、平成 27 年の約 1,974 万人から平成 30 年には約 3,119 万人に増加し、千葉県内に在留する外国人数についても平成 27 年末の約 12 万 2 千人から平成 30 年末には約 15 万 6 千人と年々増加している。

こうした状況の中、当財団では、千葉県における国際交流の中核的な機関として、県内の民間交流団体をはじめボランティア、地域の国際交流協会、大学、行政機関等と連携を図り、県民や民間交流団体による国際理解や国際交流・協力活動の促進、在住外国人への支援を通じた多文化共生の実現等を図った。

主な事業として、民間交流団体活動や国際交流ボランティアなどに関する各種情報収集、情報提供、様々な関係団体との連絡会議、在住外国人が安心して生活できるための外国人テレホン相談や無料法律相談などを行った。国際交流ボランティアの資質向上に向け、日本語ボランティア講座やコミュニティ通訳等の講座を行うとともに、県民等による国際理解や国際交流・協力への気運を醸成するため、国際理解セミナーの開催やちば出前講師の紹介を実施した。特に 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、通訳ボランティアの養成講座を開催するとともに、国際スポーツ大会にボランティアを紹介し、大会運営に協力した。

また、ホームページをリニューアルし、スマートフォンやタブレット端末への表示対応が可能となり、英語、中国語、スペイン語の他にやさしい日本語の項目を加え、外国人にも分かりやすく表示されるよう改善した。

さらには、日本語を母語としない児童・生徒やその保護者が増加する中であって、日本の学校制度の紹介や、学校から保護者宛の連絡文・保健関係の書類集の多言語版である「学校からのおたより」を発行し、7 言語に翻訳の上、県内小中学校等に配布、ホームページに公開した。

また、国際交流ボランティア制度要綱にボランティアの紹介先として、医療機関や MICE 事業を新たに明記し、多文化共生及び MICE 関連事業の支援に、より効果的にボランティアが活動できるよう環境を整備した。

## II 実施事業

### 1 オール千葉による MICE 誘致・支援の実施

#### (1) MICE 誘致の新たな展開

##### ア MICE 関連目標数値

激化する地域間競争に打ち勝ち、千葉県における MICE 開催を促進するため、千葉県、国際会議観光都市(\*)（千葉市、成田市、木更津市及び浦安市）、各市町村、地元大学、研究機関、関係機関、関係団体、賛助会員等との連携を強化し、「オール千葉」として効果的な誘致活動を展開した。

##### 【MICE 誘致件数の実績】

	MICE 誘致件数	うち JNTO 基準(*)を満たす 国際会議の誘致件数
目 標	100 件	75 件
実 績	133 件	75 件

##### (\*) 国際会議観光都市

国際会議施設、宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどのソフト面での体制が整備されており、コンベンションの振興に適すると認められる市町村を、市町村からの申請に基づき、観光庁長官が国際会議観光都市として認定する制度。日本全国で 53 箇所あり、千葉県では千葉市・成田市・木更津市・浦安市の 4 市

##### (\*) JNTO

Japan National Tourism Organization（独立行政法人 国際観光振興機構（通称日本政府観光局））の略。海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている。

##### (\*) JNTO 基準の国際会議：次の(1)～(4)を全て満たす会議

- (1) 主催者：国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象）
- (2) 参加者総数：50 名以上
- (3) 参加国：日本を含み 3 か国以上
- (4) 開催期間：1 日以上

## イ 誘致に成功した主な MICE

### (7) 国際会議・イベント

MICE の名称	開催時期	参加見込者数 (うち海外)	開催場所等
第 18 回国際小児呼吸器学会	平成 31 年 6 月	600 人 (400 人)	幕張メッセ(千葉市)

IceCube Fall Collaboration Meeting	平成 31 年 9 月	300 人 (290 人)	千葉大学(千葉市)
第 46 回日本ニュージャーナリスト経済人会議	平成 31 年 9 月	180 人 (90 人)	柏の葉カンファレンスセンター (柏市)
Monorailex 2019 Chiba Japan	平成 31 年 11 月	90 人 (45 人)	ホテル・ザ・マンハッタン (千葉市)
第 2 回国際低音フルートフェスティバル	平成 32 年 3 月	300 人 (150 人)	浦安音楽ホール (浦安市)
第 7 回国際応用藻類学会 (ISAP2020)	平成 32 年 4 月	500 人 (400 人)	幕張メッセ(千葉市)
原子力分野におけるスーパーコンピュータ・モデリングとモンテカルロ・シミュレーションの合同国際会議(SNA+MC2020)	平成 32 年 5 月	350 人 (140 人)	幕張メッセ(千葉市)
国際 3R シンポジウム (DNA 複製・組換え・修復に関する国際会議)	平成 32 年 11 月	270 人 (120 人)	かずさアーク (木更津市)
第 49 回日本免疫学会学術会議	平成 32 年 12 月	2,000 人 (120 人)	幕張メッセ(千葉市)
第 121 回日本外科学会定期学術集会	平成 33 年 4 月	14,000 人 (150 人)	幕張メッセ(千葉市)
第 62 回日本臨床細胞学会総会 (春季大会)	平成 33 年 6 月	5,000 人 (40 人)	幕張メッセ(千葉市)
9 <sup>th</sup> International Discussion Meeting on Relaxation in Complex Systems (IDMRCS-9)	平成 33 年 7 月	900 人 (600 人)	幕張メッセ(千葉市)
第 5 回国際ハロゲン結合シンポジウム	平成 34 年 6 月	150 人 (75 人)	かずさアーク (木更津市)

#### (イ) 企業会議・インセンティブ旅行

MICE の名称	開催時期	参加者数 (うち海外)	開催場所等
香港生命保険 インセンティブ	平成 30 年 7 月	1,400 人 (1,400 人)	幕張メッセ
健康食品(アジア太平洋地区) インセンティブ	平成 30 年 8 月	1,300 人 (800 人)	ヒルトン東京ベイ
中国 IT 系企業 インセンティブ	平成 30 年 9 月	1,600 人 (1,600 人)	幕張メッセ
台湾健康食品	平成 30 年 10 月	400 人 (400 人)	マロード・インターナショナル成田

#### ウ 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業(受託事業)

平成 27 年度より事業を受託し、ホームページを活用してスポーツ施設・宿泊施設・病院をパッケージとした情報提供を行うとともに、国際競技団体等の依頼に基づく視察への対応や、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を希望

している自治体との調整を行った。

また、平成 28 年度に誘致した 2018 年世界女子ソフトボール選手権大会開催に向けた各国チームの事前トレーニングキャンプの運営支援を行った。

平成 29 年度から、オリンピック・パラリンピックや県内のスポーツ情報などを発信するメールマガジンの充実に努めた。

(ア) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等の誘致

東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプの誘致を希望する自治体とともにを行った。また、サーフィンなどの事前キャンプに関する情報集を行うとともに、各国大使館に出向いてのプレゼンテーションなどを行った。

オリンピック・パラリンピックの大会期間中に各国オリンピック委員会が設置する、プロモーション活動等を行う拠点施設である「NOC ハウス」の県内設置に向けた誘致活動を行った。

(イ) 世界女子ソフトボール選手権大会の事前キャンプの運営支援及びおもてなし

各国ソフトボール協会との相互連絡や、来日からキャンプにおける運営を支援した。また、日本代表は 3 月に鴨川市で、カナダ代表は 6 月に印西市でキャンプを行った。さらに、試合終了後には、すべての参加チームに対して、試合終了後に浴衣の着付けや、水鉄砲などの日本文化体験を実施し、地域との交流を深めた。

<キャンプ地>

佐倉市—オランダ・ボツワナ、長柄町—南アフリカ、市川市—イタリア、  
銚子市—台湾、市原市・君津市—ニュージーランド、山武市—イギリス

(ウ) ホームページ等を活用した発信力の向上

2020 東京オリンピック・パラリンピックや国際スポーツ大会の事前キャンプ、学生のスポーツ合宿などの誘致に資することを目的として、日本語と英語の 2 か国語のホームページや、ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) などによる積極的な情報発信を行った。また、協力大学、協力企業のバナーをホームページに掲載した。

- a 掲載スポーツ施設：市町村・民間・大学などの施設 150 件 (11 施設増)
- b 掲載宿泊施設：千葉市など県内 28 郡市の施設 147 件 (2 施設増)

(エ) 千葉県らしいスポーツツーリズムの推進

川や海、冬でも楽しむことができるサイクルツーリズムなど、千葉県らしい 5 つのスポーツイベントを紹介するリーフレットを作成し、海外等への発信に努めた。

## (2) 誘致競争力の強化

### ア MICE 誘致活動

助成金制度の活用、視察受入れ及び相談対応等の支援により、国際会議を中心に、インセンティブ旅行や企業ミーティングの誘致活動を行うとともに、ステークホルダーとの連携強化に取り組んだ。

#### (7) 国内誘致活動

##### a 主催者訪問と視察受入れ

千葉県、国際会議観光都市（千葉市、成田市、木更津市及び浦安市）、地元大学や研究機関（千葉大学、千葉工業大学、神田外語大学、日本大学、東邦大学、千葉商科大学、国際医療福祉大学、東京大学、東京理科大学、量子科学技術研究開発機構、かずさ DNA 研究所等）と連携して、誘致活動等を行った。

##### (a) 主な誘致活動

- ・企画書・見積書の提出  
IDMRCS-9、第 5 回国際ハロゲン結合シンポジウム等
- ・国内外のキーパーソン（MICE 開催決定権者又は影響力を持つ者）の視察受入れ  
第 7 回国際応用藻類学会、Monorailex 2019 Chiba Japan 等

##### b 県内大学教職員・研究者に対する MICE セミナー・視察会の実施

会議の主催者となり得る大学の教職員や研究者などを対象に、MICE に関する最新情報の提供と、財団の活動を紹介するセミナーを開催するとともに、誘致に結び付けるため施設視察会や意見交換会を実施した

##### (a) 千葉大学教職員に対する MICE 施設等説明

対象：教育学部 平成 30 年 10 月 18 日（木）約 100 名  
薬学部 平成 30 年 10 月 24 日（水）約 50 名

##### (b) 日本大学生産工学部教職員対象 MICE 施設視察会

日 時：平成 31 年 2 月 26 日（火）13 名  
視察先：幕張メッセ、見浜園

##### c 千葉 MICE Day の実施

平成31年に共に設立30周年を迎える（株）幕張メッセと共催により実施。基調講演では、日本サッカー協会の田嶋幸三会長を迎え、幕張海浜公園に建設中のJFAナショナルトレーニングセンター「JFA夢フィールド」の概要とコンセ

プトについて講演。その後、意見交換会及び商談会を行い、観光庁やJNTOなどの来賓及びMICE主催者、賛助会員など440名の参加を得た。

- (a) 開催日：平成31年2月12日（火）
- (b) 開催場所：幕張メッセ国際会議場（千葉市）
- (c) 参加者数：440名
- (d) 意見交換会：アトラクション（ギア-GEAR-、ジェフユナイテッド市原・千葉のジェットスフィーン）や地酒、地ワイン、地ビール他、賛助会員 PR ブースが出展

#### d ステークホルダーとの連携

誘致競争力の強化を図るため、各自治体、MICE 施設及び宿泊施設等との情報共有を図るとともに、共同誘致に向けた体制作りに取り組んだ。

- (a) 「MICE 誘致施設連絡会議」の実施  
MICE 施設、千葉県、県内国際会議観光都市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）等との情報・課題の共有と、効果的な共同誘致を図るため、「MICE 施設連絡会議」を開催した。

開催日	内容	団体数 (参加者数)
平成30年4月27日	・平成30年度MICE事業計画について ・MICEに関する情報交換	18団体28名

#### (b) 誘致案件検討会の開催

MICE 施設関係者を中心としたステークホルダーを対象に、見本市、商談会における財団の誘致活動について報告するとともに、各 MICE 案件について情報共有を図った。

	開催日	団体数(参加者数)
1	平成30年4月27日	11団体15名(行政2名)
2	平成30年5月24日	5団体7名
3	平成30年8月23日	13団体14名
4	平成30年9月27日	12団体13名
5	平成30年11月1日	12団体13名
6	平成30年12月13日	4団体6名
7	平成31年3月27日	9団体11名(行政2名)

(c) MICE 関連施設視察研修会（かずさエリア）

財団職員の資質向上及びホテル、会議宿泊施設等の営業担当者に対する情報提供等を目的として、MICE 関連施設の視察研修会を開催した。

- ① 開催日：平成 31 年 3 月 5 日
- ② 訪問先：田淵地磁気逆転地層（チバニアン）、宝林寺、小泉酒造
- ③ 参加者数：33 名
- ④ 協力：（一社）市原市観光協会

(d) 幕張メッセとの MICE セールスミーティング

幕張メッセと当財団の誘致担当者を中心に、千葉県、千葉市を交えて誘致案件情報の共有を図った。

開催日	内容
平成 30 年 5 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業方針の確認について</li><li>・MICE 案件について</li><li>・2020 東京オリンピック・パラリンピック前の施設利用について</li></ul>

(イ) 海外誘致活動

a IMEX2018 への出展

- (a) 名称：IMEX2018  
(The Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings and Events)
- (b) 会期：平成 30 年 5 月 15 日～17 日
- (c) 会場：ドイツ・フランクフルト Messe Frankfurt
- (d) 主催者：Regent Exhibition, Ltd
- (e) 商談数：61 件

b IMEX America 2018 への出展

- (a) 名称：IMEX America 2018
- (b) 会期：平成 30 年 10 月 16 日～18 日
- (c) 会場：米国・ラスベガス Sands Expo Convention Center
- (d) 主催者：Regent Exhibition, Ltd
- (e) 商談数：42 件

c ICCA(\*)が主催する総会・商談会等への参加

- (a) ICCA アジア太平洋チャプター ビジネスワークショップ 2018



- ① 会 期：平成 30 年 9 月 3 日～5 日
- ② 会 場：中国西安 Hyatt Regency
- ③ 主催者：ICCA アジア太平洋チャプター
- ④ 商談数：14 件

(\*)ICCA

International Congress and Convention Association (国際会議協会 本部アムステルダム) の略。1963 年に創設された国際会議に係わる業界関係者の知識と人脈を構築し、世界各国で国際会議を開催するための 情報交換を目的とする団体。現在、世界 87 カ国の約 900 団体の政府観光局、コンベンションビューロー、会議施設、ホテル、リゾート等の業界関係者が所属している。

(b) ICCA 総会 (第 57 回 ICCA コングレス)

- ① 会 期：平成 30 年 11 月 11 日～14 日
- ② 会 場：UAE ドバイ  
Dubai International Convention & Exhibition Centre
- ③ 情報収集案件数：14 件

d CHIBA ミーティングプランナーズガイド (英語版) の改訂

平成 28 年度に作成した県内の MICE 施設、プレ・ポストコンベンション、ユニークベニュー等の情報を掲載した「ミーティングプランナーズガイド」英語版の情報を更新し、制作した。

(ウ) 誘致活動の強化促進 (特別対策事業)

国際的な MICE 誘致競争が激化する中、海外競合国・都市との厳しい誘致競争に打ち勝つため、国内・海外で開催される商談会・セミナーや、知事の海外トップセールスと連携したインセンティブ・セミナーを開催し、具体的なインセンティブ支援の紹介と千葉の魅力を主催者に積極的に PR した。

a 国内商談会への参加

(a) ビジットジャパン・アセアン+インドニア・トラベルマート

- ① 会 期：平成 30 年 11 月 27 日～28 日
- ② 会 場：神戸国際展示場 2 号館
- ③ 主催者：JNTO
- ④ 商談数：29 件
- ⑤ 参加者：東南アジア(タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア  
シンガポール、フィリピン) とインドの旅行会社、  
海外旅行メディア、国内観光関係者・事業者
- ⑥ その他：千葉市との共同出展

**b 海外商談会への参加**

(a) 高雄商談会

- ① 会 期：平成 30 年 6 月 19 日
- ② 会 場：ハワードプラザ高雄(高雄市、台湾)
- ③ 主催者：千葉県
- ④ 商談数：15 件 他旅行会社訪問 14 社

(b) ビジットジャパン・ダナン商談会

- ① 会 期：平成 30 年 7 月 4 日
- ② 会 場：ノボテルダナン(ダナン市、ベトナム)
- ③ 主催者：JNTO
- ④ 商談数：8 件 他旅行会社訪問 15 社

(c) 韓国大規模インセンティブ・セミナー

- ① 会 期：平成 30 年 12 月 4 日
- ② 会 場：プラザホテル(ソウル市、韓国)
- ③ 主催者：JNTO
- ④ 商談数：10 件 他旅行会社訪問 2 社

(d) 訪日インセンティブ・セミナー

- ① 会 期：平成 31 年 1 月 17 日
- ② 会 場：ホテルムリア・ジャカルタ(ジャカルタ市、インドネシア)
- ③ 主催者：JNTO
- ④ 商談数：17 件 他旅行会社訪問 13 社

**c 知事トップセールスと連携したベトナムでのインセンティブ・セミナー**

(a) 名 称：千葉県インセンティブ・セミナー

(b) 会 期：①ホーチミン会場 平成 30 年 11 月 19 日

②ハノイ会場 平成 30 年 11 月 21 日

(c) 会 場：①日航サイゴンホテル

②メリアホテル・ハノイ

(d) 主催者：千葉県、当財団

(e) 参加者：訪日インセンティブを主催者する現地企業・日系企業

①11 社

② 7 社

**(I) 県・関係団体からの受託事業**

**a ビジットジャパントラベルマート (VJTM) 2018 の商談会運営事業**

- (a) 会 期：平成 30 年 9 月 20 日～22 日
- (b) 会 場：東京ビックサイト
- (c) 主催者：観光庁・JNTO
- (d) 商談数：150 件
- (e) 参加者：海外各国の旅行会社約 350 社 海外旅行メディア約 20 社  
国内観光関係者・事業者約 570 社
- (f) 委託者：千葉県  
千葉県国際観光推進協議会  
成田空港周辺地域国際観光推進協議会

**b VJTM2018 東アジアの商談会運営事業**

- (a) 会 期：平成 30 年 11 月 13 日～14 日
- (b) 会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
- (c) 主催者：JNTO
- (d) 商談数：30 件
- (e) 参加者：東アジア 4 か国・地域(中国・韓国・台湾・香港マカオ)の  
旅行会社約 80 社、国内観光関係者・事業者約 80 社
- (f) 委託者：千葉県

**c VJTM2018 アセアン+インドの商談会運営事業**

- (a) 会 期：平成 30 年 11 月 27 日～28 日
- (b) 会 場：神戸国際展示場 2 号館
- (c) 主催者：JNTO
- (d) 商談数：40 件
- (e) 参加者：東南アジア 6 か国(タイ・シンガポール・マレーシア・  
インドネシア・ベトナム・フィリピン) とインドの旅行会社  
約 80 社、国内観光関係者・事業者約 110 社
- (f) 委託者：成田空港周辺地域国際観光推進協議会

**d 外国人による情報発信事業 (台湾)**

台湾サイクリング大会での千葉県 PR 及び台湾ラミゴモンキーズ・チアリー  
ダーの県内ファムトリップ

- (a) 実施時期：①現地千葉県 PR 平成 31 年 1 月 12 日～13 日  
②県内ファムトリップ 平成 31 年 3 月 16 日

(b) 内 容：台湾にて1月に開催されたサイクリング大会(縦貫台湾 520K)に於ける千葉県 PR(記事発信、現地での千葉県ポスター掲出・チラシ配布)。

3月に千葉市 ZOZO マリンスタジアムで開催したプロ野球日台交流戦に来葉した台湾のラミゴモンキーズのチアガール・ラミガールによる千葉県内視察を実施してツイッターやインスタグラム等の SNS で千葉県の魅力を発信してもらった。

(c) 委 託 者：千葉県

**e スポーツコンテンツ・プロモーション資料作成事業（繁体字）**

台湾スポーツメディアの千葉県招聘及び帰国後の千葉県 PR 資料作成・公表。

(a) 実施時期：平成 31 年 1 月 24 日～3 月 29 日

(b) 内 容：台湾のスポーツメディアを千葉県に招聘し、県内のスポーツコンテンツ（スポーツ施設・プロスポーツチーム・サイクリングコース）などを取材してもらうための資料を作成・提供した。

(c) 委 託 者：千葉県

**f 台湾での訪日旅行プロモーション事業（共同広告）**

上記 e 事業での取材内容をもとに、台湾で千葉県 PR の資料を作成、公表した。

(a) 実施時期：平成 31 年 2 月 7 日～3 月 29 日

(b) 内 容：上記の e 事業で取材した県内資料をもとに千葉県 PR 資料を作成し台湾の新聞・雑誌に広告記事掲載

(c) 委 託 者：千葉県国際観光推進協議会

**イ 各種助成制度を効果的に活用した誘致・支援**

**(ア) 県内開催 MICE に対する支援状況**

MICE 主催者及び参加者に対し、開催地域や関係団体及びボランティア等と連携して、千葉県の物産販売手配、日本酒販売・PR、地元アトラクション紹介、広報協力など、主催者のニーズに合った支援を実施した。

	ミーティング	インセンティブ	コンベンション	イベント ・展示会	合計
支援 MICE 件数	4	37	36	3	80

(イ) 助成金・貸付制度の運用

公共性及び経済波及効果の高いコンベンションに対して、審査会での決定を経て、コンベンション開催助成金を交付し、円滑な開催を支援した。

なお、コンベンション開催準備資金の貸付けについては、実績はなかった。

a コンベンション開催助成金の交付（15件 380万円）

	会議名称	開催年月	参加者数 (うち海外)
1	第45回日本集中治療医学学会学術集会	平成30年2月	6,000人 (50人)
2	第43回日本骨髄腫学会学術集会	平成30年5月	500人 (20人)
3	第35回日本呼吸器外科学会総会	平成30年5月	2,100人 (28人)
4	第60回日本小児神経学会学術集会	平成30年5月	2,000人 (4人)
5	Imaging Conference Japan 2018	平成30年6月	500人 (15人)
6	第5回生物の多様性を育む農業国際会議 (ICEBA)	平成30年7月	500人 (50人)
7	第36回日本受精着床学会総会・学術講演会	平成30年7月	1,100人 (5人)
8	The 13th International Meeting on Electrochromism(第13回エレクトロクロミズムに 関する国際会議)	平成30年8月	150人 (60人)
9	第8回分子熱力学・分子シミュレーション国際 シンポジウム (MTMS'18)	平成30年9月	100人 (20人)
10	第54回日本胆道学会学術会議	平成30年9月	1,000人 (3人)
11	Governments/Authorities Meeting on Semiconductors (GAMS)	平成30年10月	120人 (100人)
12	第43回日本足の外科学会学術集会/5th Ankle Instability Group Annual Meeting 合同会議	平成30年10月	1,000人 (30人)
13	第63回日本口腔外科学会総会・学術大会	平成30年11月	4,000人 (30人)
14	第28回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 学術集会	平成30年11月	2,000人 (5人)
15	第26回日本ステロイドホルモン学会学術集会	平成30年11月	150人 (3人)

- b 県・市の国際会議開催補助金制度の円滑な運用に向けた支援  
MICE 誘致活動の中で「千葉県国際会議開催補助金制度」「千葉市国際会議開催補助制度」「千葉市大規模コンベンション開催補助制度」及び「成田市コンベンション開催事業補助金制度」について制度の周知を図った。

(ウ) 重点 MICE 支援

- a 「ACI アジア太平洋地域総会(国際空港評議会)」  
平成 30 年 4 月に東京ベイ幕張ホールで開催された本会議について、運営上のコンサルティングのほか観光コースの紹介、記念品等の提供などの支援を行った。
  
- b 「第 13 回エレクトロクロミズムに関する国際会議(IME-13)」  
平成 30 年 8 月に千葉大学で開催された本会議について、千葉城、成田山新勝寺、日本酒蔵元などを巡るエクスカッション、各施設説明のための語学・観光ボランティアの手配、パーティーでのアトラクション手配などの支援を行った。
  
- c 「JpGU Meeting 2018」(日本地球惑星科学連合 2018 年大会)  
平成 30 年 5 月に幕張メッセで開催された本会議について、ボランティアの手配、地元自治体への連絡調整、大会参加登録者を対象に、見学会 2 コース(チバニアン、SHIRASE・千葉工業大学)を実施。また、広報活動(ビスビジョン放映、プレスリリース)などの支援を行った。
  
- d 「第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会」  
平成 31 年 3 月に千葉市民会館で開催された本会議について、千葉商工会議所、千葉市中心市街地まちづくり協議会と連携し、当学会向けに企画した食べ歩きイベント「ちーバル MINI」を実施した。また、物産販売手配などの支援を行った。
  
- e 「Foodex Japan 2019」  
平成 31 年 3 月に幕張メッセで開催された「Foodex Japan 2019」について、千葉市、幕張メッセ、千葉市観光協会、千葉商工会議所及び南房総市観光協会の協力のもと、海外からの出展者や企業を対象とした「千葉市ナイトウォーク」を開催期間中、「南房総ツアー」を開催期間後にそれぞれ実施した。また、成田空港での歓迎デジタルサイネージや大使館セミナーへの日本酒提供、パーティーでのアトラクションの手配などの支援を行った。

## ウ 「千葉らしい」MICE 支援プログラムの開発及び拡充

国内外の主催者が千葉県で円滑に国際会議が運営できるように、地元自治体・関連事業者・ボランティアの紹介、ユニークベニユーの提案を行うなど、当財団がワンストップの窓口となり支援した。MICE 関連施設に対しても、会議の概要や主催者の希望などを丁寧に説明して、協力を得られるようにするなど、MICE 開催地としての千葉県の魅力向上に努めた。

種 別	件数	内 容
ボランティア紹介	2	主催者要望に基づく運営及び語学ボランティア手配
観光等資料提供	12	幕張新都心ガイドマップ及び県内観光案内資料等の提供、インフォメーションデスク設置
千葉県の物産販売手配・斡旋、日本酒試飲コーナー設置	12	千葉県の名産・特産品・酒類・伝統工芸品等を県観光物産協会、県酒造組合と連携して販売、PR
広報協力	9	大学や学校へのお知らせ、財団ホームページ等によるイベントや公開シンポジウム開催等の告知
アトラクション(演奏・演技等)提供及び紹介	14	浦安囃子、太鼓、千葉市文化振興財団アマチュアアーティストバン登録音楽家、M☆スプラッシュ、木更津総合高校和太鼓、
後援名義	5	後援名義の使用承認
出迎え	17	職員派遣、チーバくん、成田空港デジタルカーネージ
ギブアウェイ提供	17	名入れボールペン、千葉産お菓子等
その他	30	関係機関との連絡調整支援、関係者会合への出席、地元事業者紹介(宿泊、観光場所、ユニークベニユー等)、ショッピングモール割引クーポン配布、大会当日運営支援、ツアー催行支援等

## エ 国際会議観光都市との連携

グローバル競争に打ち勝つため、JNTO、県内の国際会議観光都市及び各市のステークホルダーと連携し、MICE 開催へ結びつけるための誘致活動(見本市出展、キーパーソンの招聘等)を行った。

また、平成 30 年度から開催している国際会議観光都市連絡会議において、事業の進捗状況等の報告を行うとともに、意見交換を行った。なお、平成 28 年度より開始したステークホルダーとの出張報告等を兼ねた誘致案件検討会を引き続き開催し、連携強化を図った。

(ア) 第 28 回国際 MICE エキスポ (IME2019)

- a 開催日等 平成 31 年 2 月 28 日 (木)
- b 会 場 東京国際フォーラム 展示ホール(E2)
- c 主 催 一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)  
日本政府観光局 (JNTO)
- d 来場者数 バイヤー499 名  
(内 一般バイヤー 470 名 ホステッドバイヤー29 名)  
セラー 441 名

(イ) ビジット・ジャパン MICE マート

- a 開催日等 平成 30 年 9 月 21 日 (木) ~23 日 (土)
- b 会 場 商談会/意見交換会 東京ビッグサイト 東 7 ホール
- c 参加社数 海外 Travel Mart バイヤー 329 社  
海外 MICE マートバイヤー 30 社  
海外メディア 23 社

(ウ) 平成 30 年度国際会議キーパーソン招請事業 (Meet Japan)

- a 開催日等 平成 31 年 2 月 28 日 (木)
- b 会 場 東京国際フォーラム
- c 参加状況 参加バイヤー数 14 団体  
日本側商談会参加団体 21 団体  
(内訳: CVB 17 団体、県 1 団体、市 1 団体、協議会 2 団体)

(エ) 東南アジア英語圏ビジネスイベントキーパーソン招請事業

- a 開催日等 平成 31 年 2 月 18 日 (月) ~22 日 (金)  
平成 31 年 3 月 1 日 (金) ~3 日 (日)
- b 主な行程等 成田市訪問及び同市関係者とのネットワーキング  
千葉市・浦安市訪問及び両市関係者とのネットワーキング  
木更津市訪問及び同市関係者とのネットワーキング  
千葉市訪問及び最終報告
- c 招請者 5 名

(オ) JNTO インセンティブ (タイ・マレーシア) セミナー

- a 開催日等 平成 30 年 7 月 17 日 (火) クアラルンプール  
平成 30 年 7 月 19 日 (木) バンコク



- b 会 場
- ・ Sheraton Imperial Kuala Lumpur Hotel  
2階 Nusantara Ballroom
  - ・ Radisson Blu Plaza Bangkok Hotel The Grand Ballroom
- c 参加状況
- ・ クアラルンプール会場
 

日本側出展団体	17 団体 (34 名)
現地側出席団体	47 団体 (83 名)
  - ・ バンコク会場
 

日本側出展団体	15 団体 (32 名)
現地側出席団体	44 団体 (76 名)

(カ) JNTO インセンティブ (台湾) セミナー

- a 開催日等 平成 30 年 8 月 5 日 (日) ~10 日 (金)  
(高雄、台南、台中 台北)
- b 面談日程等
- |          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 8 月 6 日  | 高雄 7 社、台南 1 社                        |
| 8 月 7 日  | 台中 3 社<br>商談会面談 24 社 (於台中スプレnderホテル) |
| 8 月 8 日  | 台北 3 社<br>商談会面談 21 社 (台北ハワードプラザホテル)  |
| 8 月 9 日  | 台北 9 社                               |
| 8 月 10 日 | 台北 3 社                               |

(キ) シンガポール JAPAN MICE セミナー及びインドネシア・メダン訪日旅行セミナー・商談会 2018

- a 開催日等 平成 30 年 10 月 15 日 (月) ~16 日 (火) シンガポール  
平成 30 年 10 月 17 日 (水) ~20 日 (土) インドネシア
- b 会場等
- ・ シンガポール JAPAN MICE セミナー  
会場 : Ion Orchard 55 階 Salt Grill & Sky Bar  
主催 : 日本政府観光局 (JNTO)  
参加 : バイヤー 40 団体 / セラー 15 団体
  - ・ インドネシア・メダン訪日旅行セミナー・商談会 2018  
会場 : Hotel Aryaduta Medan  
主催 : JNTO ジャカルタ事務所  
参加 : バイヤー 42 団体 / セラー 29 団体

(ク)国際会議観光都市連絡会議

- a 第1回 平成30年5月17日(木) 会場：当財団内
  - ・平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画
  - ・意見交換
- b 第2回 平成30年10月19日(金) 会場：成田市役所
  - ・平成30年度事業進捗状況
  - ・意見交換

### (3) 誘致マーケティングの強化

#### ア 有力な MICE 誘致案件の情報収集・整理

MICE 誘致に係る顧客や会議等の情報を一括管理しているデータベースの老朽化・複雑化に対応し、長年蓄積してきた貴重な情報を保護・活用しながらマーケティング強化を図るために新たなデータベースシステムを構築した。

また、インターネットによる情報や、関連団体である ICCA、PCMA(\*)、SITE(\*)、JNTO、JCCB(\*)、大学・研究機関関係者、学会、協会等から得た開催情報等を収集・整理するとともに、ターゲットリストを更新して誘致活動につなげた。

(\*)PCMA (Professional Convention Management Association)

PCMA は北米を中心とするミーティングプランナー及びサプライヤーからなるコンベンション専門家の協会  
で、会員は約 6,000 名。MICE 開催地選定に大きな影響力があるため会員が多い。MICE の国際認証である CMP  
取得に向けた教育等を積極的に行っている。

(\*)SITE (Society for Incentive Travel Excellence)

SITE は 1973 年に設立されたインセンティブ旅行業界最大唯一の協会で、旅行会社、コンベンションビ  
ューロー、イベント会社、ホテル等の関係者 2,000 人以上が会員となり、84 か国 29 地区分会を有している。

(\*)JCCB (Japan Congress Convention Bureau)

(一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

我が国のコンベンションをより一層振興させることを目的に、国際観光振興会、国際会議観光都市、コンベ  
ンション・ビューロー等により設立された組織。

#### イ グローバル MICE 都市事業

##### (7) 観光庁との連携

観光庁が選定したグローバル MICE 都市 12 都市が、それぞれの知見や先進的取  
組、直面する諸課題等について共有しながら、国全体の MICE 誘致・開催の競争  
力強化を進めていくことを目的に設置された「グローバル MICE 都市・都市力強化  
対策本部(平成 29 年 11 月観光庁)」に千葉県及び千葉市とともに参加し、意見

交換、情報共有を行った。

a 日程 平成 30 年 11 月 14 日

b 会場 AP 新橋

c 参加者 グローバルグローバル MICE 都市 12 都市、経済産業省、JNTO、JETRO,

d 主催 観光庁

#### (イ) ローカルホストサポーティングスキル強化事業

MICE 誘致の司令塔であるコンベンションビューロー等の更なる機能高度化を目的として、海外有識者の視点・ノウハウを修得し、コンベンションビューロー等のローカルホスト等のサポーティング力の強化を図る事業に参加した。

海外主催者や PCO から計 2 回の研修で講義を受け、国際会議誘致に向けた基礎知識の修得、効果的な誘致の実施などについて学んだ。

### ウ 県内で開催される MICE 関連統計の整備

県内で開催される国際会議(C)の件数、種別、参加人員等のデータを都市別、施設別に担当者を配置して確実にデータ収集を行い、県内での開催状況の把握に努めた。

### エ 総会・研修会・セミナー参加、各種団体への加入

観光庁、JNTO、JCCB、大学、及び各種団体等の会議・セミナー等へ参加した。職員がその専門性や能力に合わせて初任者向け、プレゼンテーションスキルアップなどの各種研修やセミナー等に参加し、併せて最新の MICE 動向に関する情報収集や人的ネットワークの拡充を図った。また、各種ビジネス交流会に積極的に参加し、特に国際的な企業ミーティングの情報を収集し、新規顧客を開拓した。

#### 研修・セミナーの参加状況

名称	開催時期	内容
千葉銀行海外支店と当財団の情報交換会	平成 30 年 4 月、10 月	情報交換会
ちばプロモーション協議会総会	平成 30 年 4 月	総会
一般社団法人千葉県経営者協会人づくり委員会	平成 30 年 5 月ほか	人材育成のための意見交換会
JCCB 人材育成委員会研修会	平成 30 年 5 月ほか	研修会・情報交換会
JNTO MICE セミナー初級者対象	平成 30 年 5 月	セミナー・意見交換会
JCCB 平成 30 年度通常総会	平成 30 年 6 月	総会・会員交流会
千葉インバウンド促進協議会	平成 30 年 6 月ほか	総会・情報交換会

公益社団法人千葉県観光物産協会 通常総会	平成 30 年 6 月	総会・情報交換会
平成 30 年度千葉産業人クラブ	平成 30 年 6 月ほか	総会、記念講演等
JCCB コンベンションビュロー部会 (鹿児島・東京)	平成 30 年 7 月、12 月	部会、意見交換、視察等
一般社団法人千葉県経済協議会 平成 30 年度千葉県への要望書の 提出及び知事との懇談会	平成 30 年 8 月	要望書提出ほか
JNTO インバウンド旅行 振興フォーラム	平成 30 年 9 月ほか	情報交換会
千葉市海外インバウンド ツーリズム推進協議会	平成 30 年 9 月ほか	情報交換会
MPI(*) Japan Chapter	平成 30 年 9 月ほか (7 回実施)	セミナー、(業界動向、 SDGs、IR、CMP 取得方法 等)、意見交換会

(\*)MPI (Meeting Professional International)

MPI は 1972 年に設立され、企業会議やイベント業界関係者 17,000 名以上が 会員となり、90 か国以上の支部と 19 か国のクラブで組織されている世界最大の会議/イベントの協会。総会や見本市等で MPI 主催のセミナーを開催して教育等をおこなっている。また、JNTO 主催イベントへの協力、観光庁の諮問機関の委員を務めたりするなど、MICE 業界の発展に寄与している。日本地区支部あり。

## オ MICE 誘致の強化を目的とした人事交流

MICE 誘致のより一層の強化を図るため、当財団設立時より連携してきた㈱幕張メッセとの人事交流を実施し、MICE 人材の育成に努めた。

<交流期間等>

- ・ 交流期間：平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 (6 か月)
- ・ 交流人数：相互 1 名

## 2 国際交流・国際協力の促進と多文化共生社会づくり

### (1) ネットワーク化事業

#### ア 国際交流ボランティア運営事業

##### (7) 国際交流ボランティア制度の運営

国際交流事業への積極的な参加を希望する県民を対象に、ホームページ等で常時呼びかけ、次のカテゴリでボランティアを登録し、活動の場を紹介した。

平成 30 年度は、スポーツコンシェルジュと連携し、千葉県で開催された世界女子ソフトボール選手権大会（89 名）、山武市ソフトボール事前キャンプ（13 名）、ラクロス国際大会（12 名）、Goallball Japan Men' s Open（11 名）等のスポーツ大会等において語学ボランティアが通訳として活躍した。また、スペインやロシア等、各国の競技団体の視察に通訳ボランティアが同行し、千葉県への誘致活動に貢献した。また、MICE 事業部と連携し、「日本地球惑星科学連合 2018 年大会」の会場案内ボランティアの他に、アフターコンベンションとして県内の酒蔵紹介の通訳等を実施した。

なお、病院における医療通訳や学校の保護者面談の通訳等、在住外国人支援に係る通訳・翻訳も増加し、語学ボランティアの活動範囲の多様化が見られた。

##### a 語学ボランティア

…通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図るもの

(a) 登録者数：1,764 名

(b) 紹介件数：90 件（延べ 399 人（多文化共生サポート制度該当分を含む））

##### b ホストファミリーボランティア

…外国人を家庭に招待して国際交流を図るもの

(a) 登録者数：344 家庭

(b) 紹介件数：1 件（15 家庭）、17 ゲスト

##### c 文化ボランティア

…趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図るもの

(a) 登録者数：259 名

(b) 紹介件数：0 件

##### d 日本語ボランティア

…外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図るもの

(a) 登録者数：146 名

(b) 紹介件数：1 件（17 名）

e 事業ボランティア

…イベントの支援や災害時の外国人支援を通じ国際交流を図るもの

- (a) 登録者数： 96 名
- (b) 紹介件数： 1 件（延べ 6 名）

（参考）国際交流ボランティア数の推移（各年度末現在）

種別	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
語学（人）	1,012	1,146	1,349	1,579	1,764
ホストファミリー （家庭）	337	339	332	335	344
文化（人）	249	248	253	255	259
日本語（人）	93	109	121	126	146
事業（人）	32	54	73	88	96
計（延べ）	1,723	1,896	2,128	2,383	2,609

(イ) 多文化共生サポート制度の運営

医療、保健、福祉、教育等の生活支援を要する在住外国人に対し、語学ボランティアを紹介するとともに、必要に応じ、ボランティア活動費の支援を行った。

- ・紹介件数：60 件（うち活動費等の負担件数 3 件）

**イ 多文化共生ボランティア養成研修事業**

(7) 日本語ボランティア事業

a 日本語ボランティア基礎講座

在住外国人の日本語学習をサポートしながら交流しようとする県民や県内のボランティアを対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座「日本語ボランティア基礎講座」を千葉市及び富里市で実施した。

あわせて、ボランティア不足解消のため、日本語教室と受講者のマッチング事業も実施した。

<千葉会場>

- (a) 開催日：平成 30 年 7 月 24 日（火）・31 日（火）・8 月 7 日（火）  
（全 3 日）
- (b) 会場：千葉県国際交流センター研修室

<富里会場>

- (a) 開催日：平成30年8月2日（木）・9日（木）・29日（水）  
（全3日）
- (b) 会場：富里市中央公民館研修室

<千葉会場・富里会場共通>

- (c) 講師：矢崎理恵氏（社会福祉法人さぼうと21学習支援室  
コーディネーター）  
奥原淳子氏（早稲田大学非常勤講師・明治大学兼任講師）  
長崎清美氏（フリーランス日本語教師）
- (d) 参加者数：76名（延べ228名）

**b 日本語ボランティア・スキルアップ講座**

県内で活動する日本語ボランティアや関心のある県民を対象に、在住外国人への日本語指導に向けた更なる資質向上を目指すための実践的な講座（児童、大人向け）を、日本語指導者等を招いて実施した。

- (a) 開催日：平成30年11月14日（水）及び11月28日（水）
- (b) 会場：千葉県国際交流センター研修室
- (c) 講師：金子広幸氏（法政大学 JLP 日本語プログラム講師）  
山形美保子氏（東京・杉並区ボランティア日本語教室「LTC  
友の会」副代表 日本語教師 山形美保子氏）  
樋口万喜子氏（NPO日本語・教科学習支援ネット代表）  
大蔵守久氏（一般財団法人波多野ファミリスクール執行理事）
- (d) 参加者数：60名（延べ60名）

**(イ) コミュニティ通訳研修**

日ごろ県内の在住外国人から相談等に応じている語学ボランティアなどを対象に、外国人が生活する上で必要となる基本的事項（出入国や戸籍等に係る行政手続など）や年金制度並びに社会福祉制度について学ぶ研修を専門家等を招いて実施した。

- a 開催日：平成30年10月26日（金）・11月2日（金）・9日（金）・16日（金）  
（全4日）
- b 会場：千葉県国際交流センター研修室
- c 講師：広瀬理夫氏（弁護士）  
佐藤 修氏（公益財団法人入管協会）  
野口喜輝氏（社会保険労務士）  
松原恵之氏（母子生活支援施設「FAH こすもす」ソーシャルワーカー）  
千葉県健康福祉部児童家庭課
- d 参加者数：71名（延べ142名）

**(ウ) 通訳ボランティア養成講座（受託事業）**

東京オリンピック・パラリンピックに向け支援体制の充実を図るため、また、県内の在住外国人の支援を担う人材を育成するため、通訳ボランティア養成講座を開催した。

a 平成30年度第1回

(a) 開催日：平成30年7月21日（土）・8月4日（土）・9月15日（土）  
（全3日）

(b) 会場：千葉県国際交流センター

(c) 参加者数：33名（延べ99名）

b 平成30年度第2回

(a) 開催日：平成30年8月30日（木）・9月6日（木）・13日（木）（全3日）

(b) 会場：浦安市美浜公民館

(c) 参加者数：39名（延べ117名）

c 平成30年度第3回

(a) 開催日：平成30年9月22日（土）・29（土）・10月6日（土）（全3日）

(b) 会場：千葉県国際交流センター

(c) 参加者数：33名（延べ99名）

d 平成30年度第4回

(a) 開催日：平成30年10月17日（水）・24日（水）・31日（水）（全3日）

(b) 会場：印西市中央公民館

(c) 参加者数：34名（延べ102名）

e 平成30年度第5回

(a) 開催日：平成30年11月13日（火）・20日（火）・27日（火）（全3日）

(b) 会場：茂原市役所

(c) 参加者数：26名（延べ78名）

f 平成30年度第6回

(a) 開催日：平成30年12月1日（土）・8日（土）・15日（土）（全3日）

(b) 会場：千葉県国際交流センター

(c) 参加者数：31名（延べ93名）



## ※講師

千田健太氏（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

池田貴氏（一般社団法人日本ゴールボール協会）※第2、4、5回

加藤三重子氏（一般社団法人日本ゴールボール協会）※第1、3、6回

小松孝之氏（株式会社ちばぎん総合研究所）

派遣講師（ベルリッツ・ジャパン株式会社）

## ウ 国際理解セミナー事業

### (7) 国際理解セミナー

県民、県内の民間交流団体や学生等を対象に、国際理解の促進、グローバル人材の育成、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座を、専門家等を招いて実施した。

(a) 平成30年10月25日（木）

① 会場：千葉市文化センター

② 講師：松崎英吾氏（日本ブラインドサッカー協会事務局長）

③ 内容：講演「ブラインドサッカーの挑戦」

④ 参加者数：70名

\*千葉県との共催により開催した国際交流・協力等ネットワーク会議において実施

(b) 平成30年8月22日（水）

① 会場：手賀の丘少年自然の家

② 講師：浦輝大氏（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

③ 内容：講演「相手を理解すれば、自分も理解される

バヌアツ共和国 ボランティア体験談」

④ 参加者数：97名

\*千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会との共催により開催

(c) 平成31年3月21日（木）

① 会場：千葉市文化センター

② 講師：菊地紘子氏（国境なき医師団 看護師）

③ 内容：講演「小さな命を救うために

国境なき医師団の看護師としてできること」

④ 参加者数：88名

\*JICA 教師海外研修授業実践報告会と同時開催

#### (イ) 国際協力パネル展

国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施した。

a 開催日：平成 30 年 7 月 3 日（火）～9 日（月）

b 会場：そごう千葉店ギャラリー

c 内容：国際協力活動等を紹介したパネル展

\*千葉県、JICA 東京、千葉県ユニセフ協会との共催により実施

#### (ウ) 国際フェスタ CHIBA

国際交流・協力事業への県民理解を深めるとともに、国際交流・協力団体間のネットワーク化を図るため、関係団体等と連携して啓発イベントを実施した。

a 開催日：平成 30 年 5 月 27 日（日）

b 会場：神田外語大学

c 内容：民間団体の国際交流・協力活動紹介及び民族音楽パフォーマンス等  
(主催団体のほか、民間団体、学生団体など 26 団体が参加)

d 来場者数：1,500 名

\*学生ボランティア団体である神田外国語大学 CUP 及びソラビト実行委員会主催の「第 14 回幕チャリ×ソラビト」、神田外語大学主催の「コミュニティ・オープンデイ」等と同時開催

#### 各種講座受講者数の推移

年度	国際理解促進		ボランティア向け	
	目標	実績	目標	実績
28	3 講座 300 人	3 講座 196 人	9 講座 290 人	9 講座 306 人
29	3 講座 300 人	3 講座 299 人	9 講座 290 人	9 講座 395 人
30	3 講座 300 人	3 講座 255 人	9 講座 290 人	9 講座 403 人

#### エ ちば出前講座

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を図るため、在住外国人や青年海外協力隊 OB を講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国での体験等を伝える講座を、JICA（国際協力機構）と連携して実施した。

(ア) 件数：72 件（JICA 講師 40 件、在住外国人講師 32 件）

(イ) 派遣講師：99 人（JICA 関係者 60 人、在住外国人 39 人）

(ウ) 受講者数：9,629 人（JICA 講師分 7,260 人、在住外国人講師分 2,369 人）

(エ) 講師登録者数：361 人（JICA 関係者 130 人、在住外国人 231 人）

## オ 様々な主体との交流・調整事業

### (7) 国際交流・協力等ネットワーク会議

県内の民間交流団体や地域の国際交流協会等を対象に、千葉県国際交流センターによる実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議を開催し、団体相互の連携を促進し、地域におけるネットワーク化を推進した。

- a 開催日：平成 30 年 10 月 25 日（木）
- b 会 場：千葉市文化センター
- c 内 容：
  - (a) 平成 30 年度事業について  
(千葉県国際課、千葉県国際交流センター、JICA 東京)
  - (b) 事業の事例紹介等 4 団体が発表  
\*千葉県と共催により実施
  - (c) 分科会
    - 1 班 地域日本語教育について
    - 2 班 災害時の外国人支援について
    - 3 班 国際協力と地域振興について
- d 参加者数：46 名

### (4) 相談事業意見交換会

日ごろ県内の在住外国人からの生活相談等に応じている市町村や市町村国際交流協会等の相談担当者を対象に、相談に役立つ講演や情報の共有及び意見交換を行い、県内全域でのネットワークの強化を図った。

- a 開催日：平成 30 年 6 月 26 日（火）
- b 会 場：千葉県国際交流センター研修室
- c 講 師：佐藤修氏（公益財団法人入管協会）
- d 内 容：
  - (a) 講義「最新の入管行政～出入国管理の現状」
  - (b) 市町村・民間団体の外国人相談窓口開設の現況について
  - (c) 情報交換
- e 参加者数：25 名  
\*千葉県と共催により実施

**(ウ) 外国につながる子供のための日本語ボランティアの集い**

県内において、日本語を母語としない外国人児童等へ日本語指導を行っているボランティアなどを対象に、活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るための会議を行った。

- a 開催日：平成 31 年 3 月 8 日（金）
- b 会場：千葉県国際交流センター研修室
- c 講師：ピッチフォード理絵氏（NPO 法人青少年自立援助センター  
YSC グローバル・スクール 多文化コーディネーター）
- d 参加者数：30 名

**(I) 各種関係機関・団体との連携**

- a 法人・任意団体の運営への参画

次の法人又は任意団体の構成員（理事、評議員）として、国際交流・国際協力の推進に参画した。

- (a) 公益財団法人千葉市国際交流協会
- (b) 千葉県ユニセフ協会
- (c) 千葉ウイスコンシン協会
- (d) 幕張インターナショナルスクール

- b 関係機関との情報交換等

次の会議等において、関係機関と情報交換・意見交換等を行った。

- (a) 千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会総会
- (b) 9 都縣市外国人相談企画研究会
- (c) 多文化共生社会づくり連絡協議会
- (d) 地域国際化協会連絡協議会総会、幹事会、職員国内研修
- (e) 関東地域国際化協会連絡協議会情報交換会・作業部会
- (f) 関東弁護士会連合会懇談会
- (g) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック CHIBA 推進会議  
（「外国人受入体制専門部会」、「機運の醸成・国際交流の促進専門部会」、  
「都市ボランティア分科会」）

- c インターンシップの受入れ

学生の職業意識の向上及び国際交流・協力に関する理解促進を図るため、県内の大学から 2 名の学生を受け入れた（8 月 22 日～31 日）。

- d 後援名義による支援

県内の国際交流団体等が実施する 9 件の国際交流関係事業に対し、後援名義の使用承認を行った。

e イベント等への参加協力

次のイベント等に参加、協力した。

(a) 平成 30 年度英語・日本語弁論大会（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）

① 開催日：平成 31 年 1 月 22 日（火）

② 会 場：千葉市民会館

(b) 日本貿易振興機構アジア経済研究所開発スクール入学式・修了式

(c) 千葉県日中友好協会新年祝賀会

## カ 国際交流サロンの提供

県民や県内の民間交流団体等に対し、国際交流・協力活動や、研修・交流・国際関連情報提供等の場となる国際交流サロンを運営し、研修室や資料コーナー等の場を提供して活動を支援した。

・研修室利用累計：132 回 873 人

## (2) 情報提供事業

### ア 会報「国際交流つうしん」の発行等

#### (7) 会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの事業や、県内の民間交流団体の活動等の紹介し、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげた。

また、平成 29 年度より開始した、オリンピック・パラリンピック関連記事の連載を継続し、ボランティアの情報や県内で開催される種目などを中心に競技等について紹介した。（年 3 回発行、各 10,000 部発行、ホームページにも掲載、対象は県民や県内の民間交流団体、ボランティア等）

#### (イ) 「国際交流伝言板」の発行・配信

県内の民間交流団体や行政機関等による国際交流等関係事業（イベント・募集事業等）を「国際交流伝言板」として取りまとめ、県民や在住外国人、県内民間交流団体等に対し、4 か国語（日・英・中・スペイン）により発行するとともに、ホームページ上で随時情報提供を行った。

あわせて、県内の民間交流団体等によるボランティア募集情報を収集した「ボランティア募集！伝言板」についても、紙媒体での提供やホームページでの掲載を行った。

#### (ウ) ホームページによる情報提供

ホームページをリニューアルし、スマートフォンやタブレット端末への表示対応、団体・日本語教室検索の機能が追加されたほか、英語、中国語、スペイン語の他にやさしい日本語の項目を加え、外国人にも分かりやすく表示されるよう改善した。

県民や在住外国人、県内の民間交流団体等への迅速かつ有益な情報源とするため、千葉県国際交流センターのホームページ及びFacebookに、次のような内容を掲載した。

(主な内容)

- ・外国人のための生活情報、相談窓口、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室、国際協力情報、国際フェスタなどのイベント情報、オリンピック・パラリンピック関連情報、会報 など

#### (エ) メーリングリストの運営

県民や県内の民間交流団体、ボランティア等が、国際交流・協力等に関する情報を交換するため、メーリングリストを運営した。

- ・参加者数：561名

### イ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会千葉県本部の推薦に基づき41店舗が千葉県住居アドバイザーとして選任され、住宅に関する情報提供や助言を行った。

## (3) 在住外国人支援事業

### ア 外国人テレホン相談事業（受託事業）

在住外国人が安全で快適な生活を送ることができるよう、総合的な相談窓口として電話相談を行った。

(ア) 対象言語：英語（週5日）、スペイン語（週3日）、中国語（週1回半日）

(イ) 相談件数：1,026件

(ウ) 相談内容（上位5位）

①出入国 ②就労 ③涉外戸籍 ④法律・諸制度 ⑤医療

(エ) 相談者国籍（上位5位）

①日本（注） ②ペルー ③フィリピン ④中国 ⑤アメリカ

（注）外国人の代理として、配偶者、知人、通訳等が相談するケース  
外国人への対応に関して日本人が相談するケース 等

(参考) 外国人テレホン相談の状況

種別	年度					
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
件数 (件)	937	993	1,031	828	1,026	
相談内容 (上位 5 位)	1 位	出入国	出入国	出入国	出入国	出入国
	2 位	涉外戸籍	就労	涉外戸籍	就労	就労
	3 位	法律諸制度	法律諸制度	医療	医療	涉外戸籍
	4 位	社会福祉	涉外戸籍	就労	涉外戸籍	法律諸制度
	5 位	人権・身の上	各種案内	教育	法律諸制度	医療
相談者の国籍 (上位 5 位)	1 位	日本	日本	日本	ペルー	日本
	2 位	ペルー	ペルー	ペルー	日本	ペルー
	3 位	中国	中国	中国	中国	フィリピン
	4 位	フィリピン	フィリピン	フィリピン	フィリピン	中国
	5 位	キューバ	米国	キューバ	イギリス	アメリカ

## イ 在住外国人のための無料法律相談

在住外国人が地域社会で日常生活を送る際に抱える法律的な問題の解決を支援するため、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と連携して無料法律相談を行った(原則第一月曜日)。

- (ア) 開催日：平成 30 年 4 月 9 日、5 月 14 日、6 月 4 日、7 月 7 日、8 月 6 日、  
9 月 3 日、10 月 1 日、11 月 5 日、12 月 3 日、  
平成 31 年 1 月 12 日、2 月 4 日、3 月 4 日  
奇数月は行政書士を含む
- (イ) 会 場：千葉県国際交流センター研修室等
- (ウ) 相談者数：延べ 56 名

## ウ 緊急時支援

千葉県に住み、働き、学ぶ誰もが安心して日々の生活を送れるよう、災害など緊急時の支援のため、次の事業を実施した。

### (ア) 災害時外国人サポーター養成講座

市町村、市町村国際交流協会及びボランティア団体等と連携し、災害発生時に支援者として活躍できるサポーターを養成する研修を、千葉県等と共催で我孫子市において開催した。

- a 開催日：平成 30 年 12 月 8 日 (土) 及び 12 月 15 日 (土)
- b 会 場：我孫子市民プラザ
- c 講 師：高橋伸行氏ほか (多文化共生マネージャー)
- d 参加者数：延べ 106 名 (1 日目 50 名、2 日目 56 名)

### (イ) ホームページ等を活用した多言語による情報提供 (再掲)

## **エ 「学校からのおたより」の発行**

日本語を母語としない児童及び保護者に日本の学校教育システムの理解を促すと同時に、学校関係者と保護者の相互理解を深めることを目的として、学校システムの概要及び保護者あての連絡文書集を7か国語（言語：英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語）に翻訳し、小学校、中学校などに配布するとともに、ホームページに掲載して情報提供を行った。

## **(4) 国際交流・協力、多文化共生事業に寄与する事業の積極的な受託**

千葉県から「外国人テレホン相談事業」を受託し、4言語による相談を実施することにより、在住外国人に対する支援を積極的に推進した。

また、「通訳ボランティア養成研修事業」についても千葉県から受託し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け県内での支援体制の充実を図るとともに、県内の在住外国人の支援を行う人材を育成した。

これらにより、外国人が地域社会の一員として安全・安心に暮らせる多文化共生社会づくりを推進した（再掲）。



### 3 MICE 適地「千葉」ブランドの確立

#### (1) 「千葉」ブランドの確立

千葉のブランドイメージ確立のため、千葉県の有する魅力ある MICE 資源の情報収集に努めるとともに、各種媒体を活用して国内外への情報発信を行った。

#### ア 広報媒体等（和文及び英文）を活用した千葉ブランドの発信

##### (ア) 財団ホームページの活用

ホームページに MICE 施設の概要、イベントカレンダーなど MICE に関する情報を掲載し、主催者や広く一般に対して MICE 開催地としての千葉県の魅力や利便性を PR した。

財団の4事業（①MICE、②国際交流、③フィルムコミッション、④スポーツコンシェルジュ）を分かりやすく紹介し、閲覧者に必要な情報を提供できるよう更新しながら、MICE 適地「千葉」の魅力発信の強化を図った。

新たに、千葉に関係の深い外国人による千葉の PR となるエッセイを掲載するコラム「Why do I love Chiba」を作成して掲載した。

(イ) 新たに英文ニュースレター「Chiba Update」を四半期ごとに発行し、財団の活動や千葉の魅力を海外のメディアや主催者に電子メールで配信した。

##### (ウ) SNS（ツイッター）を利用した広報

新たにツイッターの運用を開始して、和文、英文ともに MICE や千葉に関するタイムリーな情報を積極的に提供した。投稿回数 和文 130 回、英文 341 回

##### (エ) 誘致ツールの作成

「CHIBA ミーティングプランナーズガイド」（英語版）の情報を更新し、誘致ツールとして活用するとともに、その内容を財団ホームページに掲載した。

##### (オ) 自治体と連携した広報

(カ) MICE 誘致のための個別企画提案、プレゼンテーション、ネットワーキング

##### (キ) 賛助会員向けニュースレターの発行

賛助会員を対象として、四半期ごとに事業報告を行った。千葉県で開催される MICE 誘致・支援活動状況や、メディア掲載情報、「千葉 MICE Day」の開催報告などのビジネスチャンスにつながる情報を積極的に配信した。

(ク) MICE 開催に関するプレスリリース

a プレスリリース：6 回実施

- ・「CHIBA MICE GUIDE」改訂
- ・「千葉 MICE Day」開催

・ JNTO 国際会議開催貢献賞受賞

Gastech Conference and Exhibition 2017

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

・ MICE 誘致成功： Monorailex 2019

・ MICE 開催情報： JpGU Meeting 2018

第 28 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会

b メディア掲載：5 件 千葉日報、日本経済新聞

(ケ) 千葉県内で開催する MICE のホームページとのリンク

**(2) 千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）**

映像産業を通して、千葉県の知名度、情報発信、文化の向上を図り、観光客の来県促進等に寄与するよう千葉県が実施するフィルムコミッション運営事業を受託し、千葉県のフィルムコミッションの総合窓口として、次の事業を実施し、新しい形の「MICE エリア千葉」の情報発信を行った。

**ア 映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務**

**その他の撮影支援**

(7) 平成 30 年度撮影支援実績

内容	受付件数	撮影依頼件数	
			うち県内撮影件数(*)
件数	2,425 件	260 件	67 件

(\*) 目標件数 48 件

**【平成 30 年度 主な撮影支援作品】**

媒体	タイトル	撮影地
映画	体操しようよ	南房総市、館山市、大多喜町
	星に語りて	大多喜町
	君は月夜に光り輝く	印西市

テレビ ドラマ	関西テレビ「シグナル長期未解決 事件捜査班」	佐倉市、いすみ市
	日本テレビ「Miss デビル人事 の悪魔 椿真子」	千葉市
	NHK「半分、青い。」	船橋市
	NHK「いだてん」	千葉市、九十九里町、木更津 市
	MXTV「Dimension ハイスクール」	勝浦市
	TBS「中学聖日記」	千葉市、我孫子市、鎌ヶ谷市
	TBS「メゾン・ド・ポリス」	白井市、木更津市、富津市、 袖ヶ浦市、
	WOWOW「悪党」	八千代市、富津市/鋸南町
	関西テレビ「健康で文化的な最低 限度の生活」	千葉市
	テレビ東京「Aではない君と」	鎌ヶ谷市、千葉市
	NHK BS「江戸川乱歩短編集Ⅲ 人でなしの恋」	柏市
	日本テレビ「探偵が早すぎる」	鎌ヶ谷市、印西市
プロモーシ ョンビデオ	スーパーファンタジー	流山市
その他	日本テレビ特番 「歩王 ウォーキング」	富津市、木更津市、市原市、 千葉市、船橋市

(イ) フィルムツーリズムの推進

a 撮影支援ドラマ「コードブルー 3」の県内ロケ写真パネル展を実施

- ・「コードブルー劇場版」公開プロモーションに合わせて、「海ほたる」で  
7～8月の夏休み期間に実施（木更津市）

b 撮影支援映画「体操しようよ」の公開プロモーションに合わせたツーリズム

- ・ロケ地マップチラシ制作、配布（全国のイオンシネマ、イベント等にて）
- ・県内ロケ地で撮影したラジオ体操動画をWEB公開
- ・南房総市特別上映会&ロケ地バスツアーに協力（動画上映&チラシ配布）
- ・イオンシネマ幕張新都心モールでのラジオ体操イベントに協力

c ホームページでの撮影支援作品およびロケ地紹介

- ・「体操しようよ」「コードブルー」等の補助金対象作品の特設サイト制作
- ・平成30年度の主要な撮影支援39作品の特設ページ作成・発信

## イ 市町村での撮影に関する調整、実績調査、その他市町村のフィルムコミッション 設立を促進するための会議等の開催

### (7) 平成 30 年 千葉県内映画・ドラマ等撮影実績調査の実施（年 2 回）

※対象 県内全市町村

- ・ 第 1 回：平成 30 年 1 月 1 日～同年 6 月 30 日
- ・ 第 2 回：平成 30 年 7 月 1 日～同年 12 月 31 日

### (4) 平成 30 年度フィルムコミッション市町村担当者会議の実施

- a 開催日：平成 30 年 6 月 7 日
- b 会 場：千葉商工会議所（千葉市）
- c 参加者数：46 市町村 59 名

## ウ 千葉県 映画・テレビ等撮影支援事業補助金

千葉県の様々な魅力を広く発信し、知名度の向上、県内の経済活性化及び観光客誘致を図ることを目的に、映画等の撮影を行う制作会社等に対して、ロケーション費用を助成する千葉県映画・テレビ等撮影支援事業補助金に係る事務を行った。

補助対象作品

作品名	撮影地
映画「体操しようよ」	南房総市、館山市、大多喜町、君津市
ドラマ「Dimension ハイスクール」	勝浦市

## 4 庶務事項

### (1) 組織

#### ア 理事会・評議員会・監事

定款に従い、当財団の議決機関として理事会・評議員会を、予算執行等の監査機関として監事を設置している。

平成 31 年 3 月 31 日現在、理事 15 名・評議員 19 名・監事 3 名が就任している。

#### <理事会・評議員会・監査の開催経過>

会 議	開催日・会場	議 題
第 1 回理事会	平成 30 年 5 月 24 日 ホテルポートプラザちば	1 平成 29 年度事業報告及び決算(案)について 2 基本財産の指定について 3 評議員の選任について 4 役員の選任について 5 定時評議員会(平成 30 年度第 1 回評議員会)の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告
第 2 回理事会	平成 30 年 6 月 30 日 書面評決	1 代表理事の選定について
第 3 回理事会	平成 30 年 8 月 31 日 書面評決	1 評議員の選任について 2 役員の選任について(3件) 3 評議員会(平成 30 年度第 2 回評議員会)の招集について
第 4 回理事会	平成 31 年 3 月 8 日 幕張メッセ	1 第 6 次中期計画(案)について 2 平成 31 年度事業計画及び予算(案)について 3 平成 30 年度第 1 回補正予算(案)について 4 理事の選任について 5 平成 30 年度第 3 回評議員会の招集について (報告事項) 1 代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告

会 議	開催日・会場	議 題
第 1 回評議員会	平成 30 年 6 月 11 日 三井ガーデンホテル千葉	1 平成 29 年度事業報告及び決算(案)について 2 評議員の選任について 3 役員の選任について (報告事項) 1 基本財産の指定について
第 2 回評議員会	平成 30 年 9 月 14 日 書面評決	1 評議員の選任について 2 役員の選任について (3 件)
第 3 回評議員会	平成 31 年 3 月 19 日 三井ガーデンホテル千葉	1 第 6 次中期計画 (案) について 2 平成 31 年度事業計画及び予算(案)について 3 平成 30 年度第 1 回補正予算(案)について 4 理事の選任について

監 査	開催日・会場	議 題
平成 29 年度監査	平成 30 年 5 月 16 日 公益財団法人ちば国際コンベン ションビューロー研修室	業務監査 会計監査

## イ 賛助会員組織

平成 31 年 3 月 31 日現在の正会員数は 352、国際交流会員数は 800 であり、その内訳は、次のとおりである。

正会員	団体	350	個人	2
国際交流会員	団体	95	個人	705

### <平成 30 年度新規加入賛助会員>

(ア) 正会員 (入会順) 団体 13 個人 0

#### ■ 団体会員

1	株式会社 JTБ 商事 千葉営業所
2	ダイワロイヤル株式会社 ダイワロイネットホテル千葉中央
3	有限会社オクト
4	東京ベイサイド合同会社(東京ベイ東急ホテル)
5	株式会社ツーリストエクスパーツ
6	ホテルマイステイズプレミア成田
7	株式会社イシワタ
8	有限会社日興商事
9	千葉商工会議所
10	株式会社 PLUS ONE

11	東薫酒造株式会社
12	株式会社エアサーブ
13	ビーエイチエス株式会社 ブルーベリーヒル勝浦

(イ) 国際交流会員 団体 1、個人 96

(参考) 過去の賛助会員数の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
賛助会員数	931	975	1,043	1,131	1,152
正会員	334	345	345	358	352
団体会員 (団体)	343	343	331	355	350
個人会員 (人)	2	2	3	3	2
国際交流会員	597	682	642	773	800
団体会員 (団体)	99	97	96	97	95
個人会員 (人)	583	545	501	676	705

## ウ 事務局

平成 31 年 3 月 31 日現在の事務局体制は、代表理事以下 38 名（嘱託 11 名含む）である。

## (2) 規程の改正

職員の給与等に係る規定改正を次のとおり行った。

### 平成 31 年 1 月 10 日改正

規程等名称	主な改正内容等
職員給与規程	県に準じた給料表等の改正 (平成 30 年 4 月 1 日からの遡及適用)
職員の再雇用に関する要綱	県に準じた給料表等の改正 (平成 30 年 4 月 1 日からの遡及適用)

※附属明細書について

補足すべき重要な事項はないので、附属明細書は作成していない。

